

2024年度第11回役員・委員合同会議 議案書

日時 : 2025年2月2日(日) 午前9時30分～午前11時45分
会場 : イングビル第1会議室 司会: 矢部 議事録作成: 小林
出席者 : 安倍、伊藤、菊池、久保田、小林、濱田、松本、宮川、矢部
小山、鶴田、安松(協議事項より出席)

<支部長挨拶>

インフルエンザが流行っているようです。また、スギ花粉がすでに飛び始めているということですので、お身体に注意して活動に取り組んでいただきたいと思います。

<報告事項>

1 1/18 新春交流会について(久保田)

11時30分から13時30分にかけて、レストラン花車で行われた。参加者は15名(安倍・伊藤・菊池・久保田・栗田・齋藤(新入会員)・坂元(新入会員)・鶴田・馬場(新入会員)・濱田・本間(新入会員)・宮川・安松・山口・和田)。

反省点をご意見いただきたい。

(濱田) 会員による自己紹介があった方がよい。→名簿を用意し、名札を付けていたので割愛した。

(宮川) 昼間に行われた交流会であり、飲み放題というのはどうだったか。→以前の交流会で、予定の金額より足が出てしまったことがあり、定額での飲み放題の方が運営しやすい。

2 1/21 カラオケ同好会について(矢部)

参加者は5名(久保田・鶴田・宮川・安松・矢部)。最後は校歌斉唱で盛り上がった。次回は2/18に行われる。

3 1/24 西東京市民まつりに参加した6大学校友会による交流会について(久保田)

去る11月に行われた西東京市民まつりに出店した大学校友会が集まり、17時30分より、西東京市役所田無庁舎1階の「カフェいこい」で行われた。明治大学校友会からの参加者は5名(安倍・菊池・久保田・小林・濱田)。

参加した大学校友会は、慶応義塾大学西東京三田会、創価大学創友会、法政大学校友会多摩北部支部、早稲田大学西東京稲門会、明治大学校友会西東京市地域支部で、中央大学西東京白門会は欠席であった。

当日は西東京稲門会が幹事を務め、参加大学の旗が用意されており、また、田無四中の生徒が作成したご当地クイズを披露するなど好企画でしっかり準備された内容だった。

本校友会の紹介スピーチの中で、今年は地域支部設立20周年記念式典が行われることや明治大学が山の上ホテルを購入したことをアピールした。最後に、各校の校歌を斉唱して幕を閉じた。次回幹事は、慶応義塾大学西東京三田会である。

(濱田) 田無庁舎1階の「カフェいこい」は、立食形式で行う会場として悪くない印象を受けた。

今後、明大校友会が何かの企画で使う場合、場所的にもいいのではないかと思う。また、三田会の佐藤副会長から、「明大校友会はこども食堂への支援、稲門会は寺子屋活動などの社会貢献活動を行っており、何かしら一緒に地域貢献を行えばいいですね。」との話があった。

4 3/14(金) 春の街歩きについて(久保田)

当日は14時に都営大江戸線の本郷三丁目駅改札口集合。本郷から根津への街歩きとなる。

「東大赤門」から「わだつみのこえ記念館」、東京大学を抜け、「弥生美術館・竹久夢二美術館」

「根津神社」と巡り千駄木駅で解散する。

日程については、「わだつみのこえ記念館」が土曜日休館のため、金曜日に設定した。

5 3/30(日) お花見会について(久保田)

毎月最終日曜日に開催されるいこいの森昼食会は、今月より再開されるが、3月はお花見会として、正午より開催を予定している。いつも使っているベンチが当日は埋まっている可能性があるため、管理事務所前に集合のこと。なお、雨天の時は中止になる。顔見知りの会員さんに声をかけてお誘いいただきたい。

6 その他報告事項

- ① (久保田) 1/26(日)の11時より、明治大学発祥の地記念碑祭が、明治大学アカデミーコモンで行われた。参加者は4名(久保田・小林・宮川夫妻)。東京都内の5支部(東・西・南・北・多摩)の会員が参加した。

当日は、明治大学史資料センター長の村上一博教授による講演「虎に翼と日本国憲法」があり、13時より懇親会がおこなわれた。

参加費の8,000円は高い印象を受けた。今月行われる北部支部の役員会で発言したい。

- ② (久保田) 3/8(土)の10時より東京都北部支部主催のボウリング懇親大会が、王子サンスクエアボウルで行われる。参加費はそのあと行われる懇親会込みで6,000円。

昨年参加して、久しぶりのボウリングだったが大変楽しかったので、皆さんもぜひ多くの参加をお願いしたい。

- ③ (久保田) 2/15(土)の11時30分より「こまちの会」が練馬区役所1907会議室で行われる。真冬の茶話会として、東京地検の渡辺氏による「身近に潜む犯罪の罟」についての講演がある。

女性会員の方には、既にメールで案内した。

- ④ (久保田) 長年ゴルフ同好会で尽力されてきた飯倉さんより退会の申し出があった。参加者減少に伴い、ゴルフ同好会の運営が西東京市地域支部から東京都北部支部に移管されたことにより、考え方の違いから幹事をおりられた。ゴルフをやらないのでは会に入っている意味がないということで、お引止めしたが退会の意志が固く、残念だがやむを得ない。

<協議事項>

- 1 総会にも参加しない会員の、会員であるという意識の退潮を防がないと会のジリ貧は必至だ(濱田)

西東京市地域支部は様々な企画・活動を行ってはいるが、参加しているのは役員だけというのが現実で、このままいくと5年、10年したら会員が半分になってしまうのではないかと。

どんなによい企画を行ったとしても、イベントに参加するのは役員だけという事実は一向に変わっていない。参加の前提となる会員同士の個人的な繋がりを作っていないと、既に会員であっても足が遠のいてしまおうし、新しく入会した会員も同じ道を辿るはず。そのためには地域の世話役委員がキーパーソンになるが、まずは役員が親しい会員と付き合いを深めていくのが一番の方法だと思う。例えば趣味や経験が似ていれば、「一緒にやりましょう」と言えるのではないかと。そして活動に参加した時に、一言でも話して自分のことを知ってもらえる機会を作れば、また足を運んでもらえるのではないかと。

会員同士が集まることのできる一番の機会は総会だ。会員交流機会を懇親会に頼らず、総会でも行えるように、例えば総会の形式を変えて、参加者に近況を話してもらって時間帯を作るなど、思い

切って変えていかないと手遅れになると思う。その結果は良くも悪くも20周年記念行事に反映されるでしょう。

(菊池) 共通の話題を話せる、例えば健康づくりの会などをブロックに分けて行い、会員に声がけする機会を作ってはどうか。

(宮川) 身近なテーマを聞ける会の開催など活動のすそ野を広げる必要がある。練馬区地域支部の「こまちの会」では、介護のことなどをテーマに茶話会を開いているが、とても良いと思う。北部支部も交えて、茶話会などを行っていかないと活性化しない。

(鶴田) 活性化のためには、何かやらなければいけない、変化しなければならないというのは解るが、それでは何をやったらよいか解らない。

(安松) 新しい人が入っても、その後のフォローをしなければ、活動に出てきてくれないし、次につながらない。フォローが大切だ。今年は20周年記念事業があるので、先ずはそのことに集中する必要がある。

(濱田) 私は、顔のつながる人には、くどくならない程度に電話して関係を作っている。

(小山) 西東京市地域支部はいろいろと活動しており、ツールはできている。それがどうなのか検証したほうがよいと思う。会報も違った視点で見直す必要がある。

(久保田) 皆さんのご意見を否定するわけではないが、西東京市地域支部の活動は、他の地域支部と比較しても様々な活動を行っている方だと思っている。これ以上のことを始めるのであれば、具体的な活動をご自分が幹事として行うよう提案いただきたい。また、自分が担当の地域の会員さんに声がけしていただき、活動に誘っていただきたい。

今日は、時間がないので改めて協議することとしたい。

2 西東京市地域支部設立20周年記念事業について

(1) 明治大学校友会との打ち合わせについて

1/10、校友連絡事務室の鍵山事務長補佐に、西東京市地域支部創設20周年記念誌に係る北野校友会会長・柳谷理事長・上野学長への寄稿を依頼。併せて、記念式典へのご臨席を依頼するが、鍵山事務長補佐からは、「原則、理事長及び学長は、県単支部の式典には日程が合えば出席するが、地域支部の式典への出席は難しい。特に2003年に校友会会則が改正されたことにより、その後多くの地域支部が設置されており、2025年は20周年の地域支部が多いので、一部の記念式典に出席することは難しいと思われる。」との回答を得る。

また、大学マーク、シンボルマーク、マスコットキャラクターのめいじろうの記念誌での使用について、明治大学商標使用申請書を提出する。

1/15、広報課より明治大学商標使用の承認を得る。

1/22、総務課秘書室より、校友会会長・理事長・学長の寄稿承諾のメールを得る。記念式典ご臨席に関しては、「理事長及び学長の学校行事等の予定がまだ決まっていないので、正式な出席依頼を待って回答する。」とのこと。

1/24、鍵山事務長補佐からのメールにて、北野会長は記念式典に出席する方向で調整中とのこと。

(2) クボタ・フィロマンダリーネン・オルケスターとの打合せについて

2/1に、クボタ・フィロマンダリーネン・オルケスターの本間様と打合せを行った。西東京紫紺会側の出席者は、安倍、久保田、濱田。

① 第1部と第2部の間が30分間だと間延びしてしまうので、コンサートの開始時間を3時15分からとすることは可能でしょうか。

→ 1時からステージの椅子の位置合わせを行うことができれば、短縮可能。椅子の位置合わせを了解し、コンサートの開始を3時20分からとする。

- ② 第2部の司会進行については、クボタフィロマンダリーネンオーケスター様にお任せしてもよろしいでしょうか。
- 西東京紫紺会の司会者が「これより第2部のクボタ・フィロマンダリーネン・オーケスターのマンドリンコンサートを開始します。」と紹介し、以降はオーケスター様に任せる。
- ③ プログラムは、クボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様にお任せいたしますが、ポップス・映画音楽などのポピュラーな曲も演奏いただくことは可能でしょうか。
- 今までもポップス・映画音楽などを演奏しているので可能。
- ④ プログラムの最後に明治大学校歌を演奏いただくことは可能でしょうか。難しい場合は、第1部の最後に校歌斉唱を行います。
- 校歌の演奏は可能。第1部で校歌斉唱に併せエールを行う場合は、第2部でインストゥルメンタル用に編曲した校歌を演奏することもできる。
- ⑤ ホールは午後1時から午後5時の時間帯で、3階の音楽練習室及び楽屋3室を予約してありますが、問題ないでしょうか。
- 問題なし。
- ⑥ 近日中にホールと打合せを行う予定ですが、ホールには何を用意いただければよいでしょうか。
- 必要なものをリストアップして連絡いただく。
- ⑦ クボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様とホールとの打合せを行う必要はありますか。行うとすればいつ頃ですか。
- 西東京紫紺会側で必要なものを伝えていただければ、事前の打合せは必要ない。
- ⑧ 記念式典のチラシに記載するクボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様のプロフィールを7月末までにご用意願います。併せてそのチラシに演奏する曲目を記載することは可能でしょうか。
- A4サイズのチラシの裏面にプロフィールと曲名を記載することとし、原稿を用意いただく。
- ⑨ クボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様のCDの販売をお考えでしょうか。
- ホールに確認し、CD販売が可能な時は、販売したい。
- ⑩ 出演料（楽器等の搬送料を含む）は如何いたしましょうか。
- Maxで10万円とし、予算の状況により相談する。
- ⑪ 参加者は35～36人。
- ⑫ 当日配布するプログラムにクボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様のコンサートのチラシをはさむことを了解する。
- ⑬ クボタ・フィロマンダリーネン・オーケスター様の関係者の来場及び第2部からの入場を了解する。

(濱田) 今後の打合せで、演奏時の撮影は大丈夫か確認する必要がある。また、携帯電話等のマナー喚起も会場アナウンスする必要がある。

(3) 20周年記念誌への会員からの原稿の集まり状況について(宮川)

現在、原稿は29名分集まっており、さらに1名の原稿について調整中である。目標の30名はクリアできると思う。

(4) 寄付の状況について(安倍)

1/30 現在、寄付金額は、555,014円。目標金額の70万円に対して79.3%である。西東京紫紺会からの2025年度組入金10万円は含まれていない。

また、現在の財政報告として、ゆうちょ銀行にある会費の金額は105,524円、会計の残額は72,695円。合わせて178,219円となっている。

(5) その他(久保田)

記念式典には西東京市長もご臨席をお願いする予定であるが、本日の市長選の結果を待って、会員の小林達也市議会議員を通じて20周年記念誌へのご寄稿と式典へのご臨席をお願いする予定である。

次回は 3月2日(日) 午前9時30分より イングビル2階第1会議室